

市内郵便局 2 カ所で千葉市産農産物の販売を開始します！
～日本郵便株式会社及びやさいバス株式会社と連携した地産地消推進の取り組み～

千葉市では、地産地消の取り組みの一環として、「日本郵便株式会社」及び「やさいバス株式会社」と連携し、7月1日から市内郵便局 2 カ所で千葉市産農産物の販売を開始しますので、お知らせします。

1 経緯・目的

本市では、地産地消を推進する取り組み（千葉市つくたべ）を実施していますが、市内農産物を低コストで効率よく配送することが物流面での課題となっていました。

そこで、定時に決まったルートを巡回して農産物の集荷及び配送を行う「やさいバス」を運営する『やさいバス株式会社』及び本市と「市産品の販売促進、地産地消に関すること」を含めた包括連携協定を締結した『日本郵便株式会社』と連携し、生産地からの配送と市民に身近な販売所の確保を目的に、郵便局で農産物を販売することとしました。



2 市産農産物の販売

(1) 販売日

令和 3 年 7 月 1 日（木）から 毎週火～金曜日（商品の入荷日は、火・木曜日）

(2) 場所

- ア 千葉中央郵便局（中央区中央港 1 - 1 4 - 1）
- イ 美浜郵便局（美浜区真砂 4 - 1 - 1）

(3) 決済方法

- ア 現金（設置された貯金箱に硬貨を投入、両替は不可）
- イ QR決済（P a y P a y）



市内を巡回するやさいバス

<参考1>

千葉市つくたべ（千葉市でつくって千葉市で食べる）について

本市では、地産地消を推進する取り組みを平成28年度から始動し、市内産の農産物を消費者が気軽に食べられる場や、購入できる場を増やす取り組みを行ってきました。この「つくたべ」の取り組みは徐々に広がってきていますが、近距離・小ロットへの対応が物流面での課題となっていました。

詳細は、以下のホームページで確認できます。

【URL】 <https://www.chibacity-tsukutabe.com/>



<参考2>

やさいバス株式会社及び日本郵便株式会社との連携について

(1) やさいバス株式会社

平成28年に静岡県から始まったサービスで、直売所や道の駅、小売店などを集荷場であるバス停に設定し、「やさいバス」と名付けた冷蔵車が巡回することで生産者が出荷した品物を、その日のうちに受け取れるという地域共同配送システムを行っています。このサービスを利用することで、農産物の集荷及び配送を低コストで効率よく行うことができようになり、これまでの物流面での課題を解決することが期待されています。

千葉市では、令和3年2月からスタートし、緑区・若葉区・花見川区の農産物を中央区・美浜区・稲毛区に届ける巡回ルートが設定されています。

やさいバスの詳細は以下のホームページで確認できます。

【URL】 <https://vegibus.com/>

(2) 日本郵便株式会社

千葉市食のギフトセレクションで大賞を受賞した商品が平成31年2月から、日本郵便株式会社の「ふるさと小包」で販売されたことで、市内産品の販路拡大につなげていただきました。その後、令和2年12月17日に千葉市と包括連携協定を締結し、その一つの取り組みとして「市産品の販売促進、地産地消に関すること」について連携を進めています。

本市と日本郵便株式会社との包括的な連携に関する協定の詳細は、以下のホームページで確認できます。

【URL】 <https://www.city.chiba.jp/somu/somu/somu/japanpost-kyotei.html>